



ラジオ「素人」の記者が、全国のラジオ局や番組などを紹介する当コーナー。4月に始まったばかりというのに、早くも次のネタに困った。ラジオ通のライターやきそばかおるさんに泣きついたところ、紹介されたのがこの番組。山形放送(YBC)の「山口岩男の方言Rockninght☆」(毎午後6時10分)だ。

パーソナリティーの山口岩男は、山形県天童市在住のシンガー・ソングライター。ギター、ウクレレ奏者として長年活躍し、スタジオミュージシャンとしてSMAP、嵐などのレコーディングに参加。2019年12月、故郷に活動拠点を移したという。

番組ホームページの山口的コメントに「方言は『感情』や『温度』を伝える『ゴトバ』です」とあり、文化財ともいえる方言を後世に伝えていきたいとのこと。その言葉通り、方言丸出しのトークが続く。5月は沖縄の

優しく心に響く山形弁

番組を紹介したが、沖縄の言葉は「温かい」という感じなのに、こちらは「優しい」という印象だ。

最近の放送では、19日田発売の山口の新シングル「なえだてむしょげだばんだどりゃ」が流れた。「なんとまあ、ふ化したばかりじゃないか」というタイトルの山形弁ラップ。全編意味が分からないが、そんなことはささいなこと。ポルトガル語のボサノバ、英語のロックの名曲も、歌詞の意味は分からなくても心に響く。「方言のグループを感じてほしい」。山口さんの言葉にしばれた。

山形でも、方言を使う若い世代は減っているという。音楽とラジオで文化をつむいでほしい。(原田隆幸)



「山口岩男の方言Rockninght☆」のスタジオで語る山口岩男(山形放送提供)